

●現在の上空から見た古窯跡(中世)の位置図

丹波焼の里
路地歩き
ガイドマップ
日本遺産構成文化財巡り



2017年4月

丹波焼を含む日本六古窯が
日本遺産に認定されました

きつと恋する六古窯
日本生まれ日本育ちの
やきものの産地



三本峠南窯 三本峠北窯 源兵衛山窯

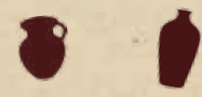


稲荷山窯 武士ケタ4号窯 太郎三郎窯
武士ケタ5号窯



床谷窯

現在において古窯跡はその痕跡をほとんど見つけることができませんが、このような場所で昔の陶工が窯を焚いていたということに思いを馳せると、より今の丹波焼を深く知ることができます。



丹波伝統工芸公園

すえのさと
立杭 陶の郷

里山に囲まれた緑豊かな丹波焼の郷

約50軒の窯元の丹波焼を一斉にお買い求め
頂ける窯元横丁に、初めての方でも取り組める
陶芸体験教室もある丹波焼の総合施設です。



年中無休(12月29日~1月1日は除く)※臨時休園日あり
開館時間 4月~9月:AM10:00~PM6:00 10月~3月:AM10:00~PM5:00
TEL 079-597-2034 FAX 079-597-3232 TEL 079-506-6027(陶芸教室直通)
〒669-2135 兵庫県篠山市今田町上立杭3 <https://tanbayaki.com/>



丹波焼構成文化財

- ★ ……中世 (鎌倉幕府成立～江戸幕府成立)
- ……近世 (江戸時代)

日本遺産に認定された丹波焼構成文化財は①～⑤の5つです。

丹波焼古窯跡は「中世」「近世」「近代(明治以降)」に区分され、現在21もの窯跡が発見されています

⑤古丹波コレクション
丹波焼の創成期から江戸時代末期に至るまでの約700年間に作られた代表的な品々を、年代・形・釉薬・装飾等に分類して展示しています。
江戸時代そのままの姿で妻入りの商家が立ち並ぶ河原町の一角にあり、館蔵品のうち312点が「古丹波コレクション」として兵庫県指定文化財となっています。



①丹波立杭焼
発祥は、平安時代末期から鎌倉時代の初めといわれ、慶長16年ごろ、朝鮮式半地上の「登窯」が導入されました。
同時期に取り入れられた蹴りロクロは日本では珍しい立杭独特の左回転ロクロです。

③丹波立杭登窯
丹波焼に現存する最古の窯で、明治28年に造られました。
山の勾配を利用して長さ47メートルにわたって築かれ、9袋の焼成室を持っています。



②丹波焼古窯跡
三田市と境界を接する三本峠が丹波焼発祥の地とされています。
採取された陶片には甕や壺があり、常滑焼の影響が見られます。
調整は無釉・紐造・ろくろ仕上げで、自然釉を被るものもあります。
窯業史上、いわゆる『丹波焼』の研究において、重要な遺構となっています。

●現在の下立杭～釜屋の全景写真



④丹波立杭焼(作窯技法)
慶長年間を境に穴窯から登窯へ移行したと考えられており、「そだて石」により窯の基部を造り、日干し煉瓦の「まくら」を積み上げてアーチを組みます。
窯の内外、床面を山土で塗り固めるなど、多数の行程を経て、登窯が築窯されます。